

男声合唱团

==-\text{ZNo.452} '14. 3. 6

強化レッスン

「ドナウ」、「あ、夜よ」、「人間のうた」他

3月2日

□3月2日(日)の強化レッスンは、以下の曲を練習しました。カッコ内は指揮者(敬称略)、ピアノ;静さん。参加は全28名でした。

- 「美しく碧きドナウ」(本並) 暗譜が増え、指揮に集中できるようになってきた。本場仕込み の静さんの素晴らしい前奏にふさわしい合唱とすべく。
- ・「あゝ夜よ」(本並) バスの後追い部をチェック。
- 「人間のうた」(本並) 16分音符をくっきりかつ伸びすぎぬように。
- 「つぶてソング」(伊藤) 「放射能」から「街を返せ」のつながりをチェック。
- ・「降りつむ」(本並) 導入部のハーモニーが勝負どころ。
- ・「花は咲く」(伊藤) 祭典バージョンの再確認。
- ・「八木節」(本並) 楽譜をはなせるか、暗譜が原則。
- 「安里屋ユンタ」(本並) 呂律がまわるように何回も自習が必要。 (記事は乾さんに提供し て頂きました。)

バスの浅井和夫さん亡くなられました

□バスの浅井さんが突然逝去され、お通夜が3月4日(火)、告別式が3月5日(水)に上小阪自治会館にてとり行われました。

□浅井さんは当団設立以来の団員で、素晴らしい美声と歌唱力で、バスのソリストやパートリーダとして重きをなし、優しい人柄は皆に好かれていました。惜しい人を失いました。ご冥福をお祈りします。乾さんと岡邑さんからメールで式の報告がはいっていますので、以下にご紹介します。

□3月4日浅井さんの通夜がいとなまれました。 参加は乾、石橋、橋本、岡邑の4名で一般は私達を含め23人でした。通 夜式のあと、本人の供養になるので食べて帰って下さいと、ビールやお寿司がふるまわれ、会食しながら、自己紹介と浅井さんの想い出を語りました。



No.452 (1/2)

学校の先生、中学校の 同級生(3人)共産党後援会、議員、近所の人々で一様に浅井さんは優しい人だった、良い人をなくしたと残念がられていました。 お通夜の今日は火曜日ですが金曜日には後援会の人達とぜんざいを食べたそうです。きっと奥さんであった弥生さん(去年8月ご逝去)が迎えに来たのだと言われていました。 香典は副団長の石橋さんから渡してもらいました。 岡邑

□浅井さんの昨夜のお通夜には石橋さん橋本さん岡邑さんと私が伺い、今日の告別式(家族葬)には、石橋さん岩崎さん三谷さん、それに新聞(本誌の訃報欄に掲載)で知ったという若園さんが参列。ほかにかあちゃんからの連絡で第一合唱団から団長はじめ4名が参列されていました。ご親戚が弟さん一家三人とご住持のみという事でしたが、浅井さんが支部長をされていた関係の方々や合唱団関係でお見送りできたのは良かったと思いました。仲の良かったご夫婦、きっと弥生さんがやさしく呼んだのではないかとは帰りのクルマの中でのカアチャントノ話し。安らかなお顔でしたよ。 乾

昴9THコンサート拡大状況 3月2日現在

□ 目標 1100枚

□ 入 金 済 475枚

□ 今後の確約 429枚※

※3月2日現在アンケート結果による。 回収率79.5%

□ 計 904枚

※確約枚数も山本さんまで届けて下さい。

「長寿を祝う会」出演

□3月22日(土) 13時集合

П

П

□ゆうゆうセンター多目的ホール

(交野市立保健福祉総合センター内)

- □公演曲 3月7日に決めます。
- □服装 赤シャツ、黒ズボン、9条バッジ

※ チラシ、交通案内図はレッスン時に 別途配布します。

チラシ抜き書き

― 77歳の喜寿になられた方と、喜寿を過ぎて加入された方の長寿をともに祝い、長寿を満喫する歓びの会を今年も開きます。 —

催し 男声合唱団昴、落語(予定)他

※男声合唱団「昴」は2000年春大阪で誕生。戦争反対の歌、人々の心に連帯と勇気を引き起こす歌など、 大阪を中心に活発な演奏活動を展開されています。